

学童保育連合化に伴う 現状と行政の対応は

矢加部 茂晴 議員



筑後市学童保育連合会事務局スペース
(総合福祉センター内)

問 今年2月に学童保育連
絡協議会がより統一的な行
動をとるべく、学童保育連

合会が結成された。連合化
に伴う現状と行政の支援は。
福祉事務所長 連合会より
運営委員会ごとの問題点や
課題の洗い出しを行って
いると聞いている。その中か
ら共通の課題等の整理を行
い、事務処理の一元化等に
取り組まれるのではないか。
市民生活部長 メリット、
デメリットの部分が明確に
わからないし、デメリット
のほうが大きいという保護
者の声が多くなっている
と聞く。今後末永く連携し、
学童保育の質が向上するよ
うな支援を今後やっていく
ためには、当面連合会スタ
ッフとの協議が必要ではない
かと思う。先月下旬に連合

学童保育事業を 永続的に切り盛り していくため

会関係者が市長と会い、市
長に要請書が寄せられた。
この要望等も含めて金の面
だけでなく、物的、人的の
部分も含めて支援を考える。

問 筑後市の学童保育事業
を誰が永続的に切り盛りす
るかという観点で言えば、
やはり事務局体制の構築が
大事だ。核となる連合会事
務局の推進体制を今こそきつ
ちりすべきではないか。
市長 連合会の方々から連
合になる前の組織があった
ことを聞いたが、連合を立
ち上げて、どういう体制で、
どういう経費で、どうい
う中身のことをやっていくの
かが煮詰まらないままに立
ち上がったという印象を受
けた。そういう点でも、も
う一回連合会自体も8か所
の学童保育所運営委員会の
方々とよく協議をしないと
うまく進まないのではないか。
協議に当然市が入ったほう
がいいときには行政も入る。

筑後市の児童虐待の 状況・対策・対応は

坂田 容子 議員

問 児童虐待を耳にしない
日はないほど各地で悲惨な
事件が多発している。筑後
市の児童虐待の状況や対策、
対応はどうなっているか。

市長 子どもをめぐる状況
はますます深刻化している。
児童虐待については早期
発見、早期対応できるかが
かぎであり、関係機関との
連携を図りながら、今後と
も真摯に取り組んでいく。
福祉事務所長 相談の対応
件数は増加傾向。筑後市子
どもを守る地域ネットワーク
会議を設置し、個別事例
には関係機関が一堂に会し
て、解決策を検討していく
体制をとっている。また、
作成している「子どもへの
虐待をなくそうカード」の
活用も図りながら悩んで
いる保護者からの相談を受け
やすい体制、市民からの虐
待等通報してもらえよう
な啓発活動に努めていき
たい。

福祉サービスの 第三者評価の 把握はしているか

問 福祉サービスの第三者
評価制度は社会福祉法人等
事業者の提供する福祉サ
ビスの質を事業者や利用者
といった当事者でない第三
者機関が専門的、客観的な
立場から公平中立に評価し、
事業者のサービスの質の向
上と利用者の適切なサービ

スを選択できるようにする
ものである。筑後市の状況
を把握しているか。

福祉事務所長 福祉サービ
ス第三者評価を受けるかど
うかは、事業者の努力義務
となつている。筑後市の事
業所についてはホームページ
への公表は今のところな
い。評価の該当事務所の認
可、許認可等は県が行って
いるが大変有意義な制度で
あるので、市としても事業
者や利用者への制度の周知
に努めたい。



子どもへの虐待をなくそうカード